

大地の会に入会して

西山 拓

本年の7月に、越路にある朝日酒造㈱に入社したことがきっかけで、皆様のお仲間に加えていただきました。朝日酒造では広報部に所属し、(財)こしじ水と緑の会の事務局を担当しています。こしじ水と緑の会は、「豊かな自然環境の保全を図り、現在と将来の世代のために快適な自然環境を提供すること」を目的に、2001年に朝日酒造が設立した財団法人です。この目的に沿い、新潟県内の自然保護活動の助成の支援を行う助成事業や、水と緑を尊ぶ心を育てるために、子どもから大人を対象に環境教育を行う、「水と緑の自然学校」事業などを行っています。

つい先日の9月1日(土)には、水と緑の自然学校「渋海川で川遊び」を開催しました。今回のプログラムは「川原の石」に焦点をあて、地質の専門家を講師に招き、砂や石を顕微鏡で観察したり、ストーンペインティングなどをして楽しみました。私は主催者の立場でしたが、講師のお話を聞きながら、一つの川原の石にも数億年、数万年という歴史があることに心が躍りました。普段何気なく見ているものにも、実は深い意味や、歴史が隠されていることに気づかされました。参加してくれた子どもや大人の方々も、きっと何かつかんでくれたと思います。今回のプログラムで「川の生きもの」でなく、たまたま「川原の石」に焦点をあて、地面の深いところの地球の活動を垣間見たことは、大地の会の活動に通じるものがあり、なんだか不思議な縁のようなものを感じています。

ところで、この会で初めて参加させていただいた活動は、8月10日の総会・記念講演でした。演題は、「信濃川・魚野川合流部周辺の新しい時代の地表変動」で、大塚富男先生が講演されました。今まで、地面の深いところに興味をあまり持っていませんでしたが、先生のお話を聞き、地球の活動のダイナミックな一面に触れた気がしました。また、中越沖地震直後に現場入りされた先生の生

のお話を聞くことが出来、大変感銘を受けました。

話しは変わりますが、私は数年前、酸性雨が森林のキノコに与える影響について研究した経験があります。キノコには「菌根菌(きんこんきん)」という、樹木の根を通じて樹木と助け合いながら共生しているものがあり、菌根性キノコと呼ばれています。マツタケは、その菌根性キノコの代表選手です。樹木と共生しているため、樹木か菌根性キノコのどちらかが弱っても、森林に影響が現れることが予想されます。また、酸性雨が降れば土壌が酸性化され、菌根性キノコにもなんらかの影響を及ぼしていると考えられます。そこで私は、土壌の酸性度と菌根性キノコの発生状況を調べるため、土壌を採取して、酸性度(pH)や微量金属元素を測定し、その土壌に発生する菌根性キノコの調査をしました。樹木の根は、土壌の表層に多く広がっているため、採取する土壌は、地表から深くてもせいぜい30cm位までを対象としていました。そのため、その当時は、森林と浅いところの土壌に目は向いていましたが、地面の深いところのダイナミックな活動までには、目は向いていませんでした。自然を知るには、いろいろな視点や角度でものを見ることが大切です。大地の会への入会は、私にとって今まで視点に無かったものに目を向けるきっかけとなりました。もし、朝日酒造に入社しなければ、入会することも無く、新たな視点に目を向けるきっかけも得られなかったのだと思うと、「縁」というものは、つくづく不思議なものだと思います。これからも、人と人との出会いや縁を大切にしながら活動に参加し、学んでいきたいと思っています。



顕微鏡で石を観察する子どもたち

川が育む くらしと自然



大河津分水可動堰（工事前）



平成16年 刈谷田川

- 会 場： 越路総合福祉センター3階 電話92-4656（巡検は、越路総合福祉センター集合）
- 受講料： 大地の会会員 500円 一般 1,500円
- 申込み： 長岡市教育委員会越路分室へ 電話0258-92-5910

日程・内容

回	日 時 ・ 講 義 内 容	講 師
第1回	9月18日（火） 開講式 19:00～19:30 講 演 19:30～21:00 講演「川がはぐくむ自然」 ～岩打谷川・渋海川・信濃川の自然環境～	(株)エコロジーサイエンス主査研究員 1級ビオトープ計画管理士 大地の会会員 中野 雅子 氏
第2回	10月 2日（火） 講 演 19:00～20:30 講演「川と人とのつきあい」 ～治水、利水から環境へ～	長岡技術科学大学名誉教授 NPO 法人水環境技術研究会理事長 信濃川大河津資料館友の会会長 工学博士 早川 典生 氏
第3回	10月14日（日） 野外巡検 8:30～17:00 巡検「信濃川大河津資料館と治水工事最前線」 大河津資料館、大河津分水河道堰工事現場 刈谷田川、五十嵐川の被災箇所と復旧工事状況など	信濃川大河津資料館 館長補佐兼研究員 樋口 勲 氏 長岡地域振興局地域整備部 三条地域振興局五十嵐川改修事務所 新潟第四紀グループ
特別 番外編	10月23日（火） 19:00～20:30 「新潟県中越沖地震調査緊急報告会」	新潟第四紀グループ 大地の会顧問 理学博士 飯川 健勝 氏
第4回	10月30日（火） 講 演 19:00～20:30 閉講式 20:30～21:00 講演「川の岸边にできた“まち”と“むら”」 ～人と「水の文化」を考える～	前信濃川大河津資料館館長 近代地域史研究家 五百川 清 氏

※特別番外編として、今年7月16日に発生した中越沖地震の緊急報告会を開催いたします。

主催：大地の会・長岡市越路公民館

講座テーマ ねらい と 聞きどころ 見どころ

私たちの生活は、川によって育まれてきました。

しかし、最近の私たちの生活は、直接的に川と関わる機会が少なくなり、川を身近に感じられなくなってきました。その一方で、近年の集中豪雨などで治水への関心はますます高まってきています。ここで、今一度、私たちの身近な川に目をむけ、川についての基礎知識を学び、人と川との関わり方について考えてみたいと思います。

講座では、私たちの身近な川を対象として、川が育む自然環境、最近の集中豪雨や治水のあり方について、さらに、昔の人たちが川とどのように関わっていたのか、歴史的な観点から、川を学びみつめなおします。

また、巡検では、世紀の大土木工事が進行中の、大河津分水可動堰の工事現場や信濃川大河津資料館などを訪ねます。



信濃川 長岡市下山地内

第1回 「川がはぐくむ自然」 ～^{なとうちだにがわ}岩打谷川・渋海川・信濃川の自然環境

講師 中野 雅子 氏

越路を流れる川を題材に、それぞれの流域の地形的な特徴と、そこに育まれる自然環境について考えます。

岩打谷川は里山を流れる川。ここに生息する生物の生き様から、川と田んぼと山とが一体となった谷の環境を考えます。そしてサケが上る川渋海川。サケはどこまで遡上しているのか追跡しつつ、渋海川の河川環境について考えます。また、越路付近の信濃川は扇状地区間にあたり、広大な河川敷がひろがります。ここに成立する植生の特徴から河川環境を捉えてみます。

第2回 「川と人とのつきあい」 ～治水、利水から環境へ～

講師 早川 典生 氏

文明とともに始まった川と人とのつきあいは、治水、利水、環境という三つの側面で捉えることが出来ます。治水の考え方は時代と共に変化していきます。藩政時代から近年までのその変遷をたどり、治水について考えます。そして、昔から「水争い」に代表される水利権の歴史や近年の河川環境の捉え方について振り返ります。

また最近洪水は多発し、“ゲリラ的”大雨が降るといわれます。近年の洪水の出方と対応の仕方について考えてみます。

第3回 野外巡検 「信濃川大河津資料館と治水工事最前線」

案内:信濃川大河津資料館 樋口勲氏 新潟第四紀グループ
新潟県長岡地域振興局・三条地域振興局

大河津分水資料館で治水や暮らし、自然環境について学ぶとともに、大河津分水可動堰の工事現場で治水工事の最前線を見学します。また、災害復旧工事が最盛期を迎えている刈谷田川、五十嵐川の被害と復旧について巡検します。(巡検箇所:大河津資料館、洗堰、可動堰工事現場、横田切れ、蒲原大堰・中之口水門、刈谷田川災害復旧工事(中野島地区)、五十嵐川災害復旧工事(三条市))

第4回 「川の岸边にできた“まち”と“むら”」

～人と「水の文化」を考える～

講師 五百川 清 氏

岩塚小学校の校歌は、「青田をうるおす川瀬の水も 時にあふれて里人たちの たわまぬ力を鍛えてくれる われらも進んで仕事にあたる 心とからだを作ろうともに」と歌う。なぜ、水はあふれ、そして、里人はどのように鍛えられてきたか。そこに「水の文化」を考える鍵があるのではないか。

お知らせ

■石油の世界館友の会・今後の活動

大地の会と交流があり、今年5月の巡検でお世話になった「新津・石油の世界館友の会」から、活動予定が届きました。一部はすでに申し込み期日が過ぎておりますが参考までにお知らせします。

①2007年友の会市民講座

「大地を探索 越後平野」 (会場:新潟市秋葉区 金津地区コミュニティセンター)

越後平野の大地(地質)はいつ、どのようにしてできたか。越後平野の大地について学習する。

◇1日目: 9月15日(土) ・平野の地形分類:越後平野を例にして(石油の世界館友の会:坂井陽一)

(9:30~12:30) ・砂丘と生活:新潟砂丘(石油の世界館友の会:木村澄枝)

◇2日目: 9月29日(土) ・河道、自然堤防と後背湿地:新津丘陵周辺の平野(友の会:中島哲宏)

(9:30~12:30) ・越後平野の生い立ち(友の会:小林巖雄)

◇3日目:10月13日(土) ・遺跡から探る低地での人の生活:(新潟市埋蔵文化財センター:立木宏明)

(9:30~17:00) ・平野の生活地盤(友の会:川島隆義)

・野外見学:大沢谷内遺跡、曾川切れ 他

②里山の自然(地学)シリーズ「講演会&見学会」

◇10月20日(土) (会場:新津美術館)

講演会 ①「南米の石油事情」 帝国石油(株) 滝本俊昭

②「新潟の昔の油田風景」 小野沢正一、佐藤 勝

野外観察会 矢代田小学校裏の露頭で堆積構造をテーマに兎谷層・金山層を観察する。

新潟大学 立石雅昭

申し込み:秋葉区役所政策企画課 (025-25-5671)

■東山油田(史跡・産業遺産)保存会

◇第2回東山油田写真展の開催 (予定:11月)

■復興祈念フォーラム

震災から3年を迎えた復旧から復興への転換期にあたり、被災地の現状と課題を再認識する。

◇10月21日(日) (会場:長岡リリックホール)

内容: 基調講演、状況報告、リレーメッセージなど

主催: 震災3周年復興祈念事業推進協議会、新潟日報社、長岡市

会員の皆様へ

■大地の会の活動へのご意見・ご要望をお寄せください。

日頃大地の会の地学講座、巡検などの活動への積極的なご参加ありがとうございます。今年の地学講座は3年ぶりに地震から離れたテーマ「川が育むくらしと自然」で行います。なお、今回の講座は、大地の会会員の中野さんが初回の講演を務めます。ご期待下さい。

なお、地学講座の内容やその他の活動について皆様のご意見・ご要望をお寄せ下さい。

■会報「おいたち」への投稿をお願いします。

「おいたち」は大地の会の活動内容の報告と地学や地域づくりに関する情報提供を行うとともに、会員同士の意見交換・情報交換の場です。記事掲載のご要望を承りますとともに、会員の皆様の投稿をお待ちしています。

賛助会員紹介

帝国石油株式会社国内本部
朝日酒造株式会社
株式会社エコロジーサイエンス
有限会社越路地計
大原技術株式会社
有限会社広川測量社
高橋調査設計株式会社
株式会社長測
有限会社中越測量社 順不同

大地の会会報 おいたち 52 号

2007. 9. 18 発行

問合せ先 〒949-5493 長岡市浦 715 番地

長岡市教育委員会越路分室

担当 桑原浩志 TEL 0258(92)5910

ksj-kyoiku@city.nagaoka.lg.jp

大地の会代表 小川幸雄 携帯: 090-4672-7681

y-ogawa@m2.nct9.ne.jp

<http://www10.plala.or.jp/wai2club/daitchi>